

**[成果情報名]アスパラガス半促成長期どり栽培における茎枯病の総合防除体系**

**[要約]**アスパラガス半促成長期どり栽培において、春芽萌芽前の残茎除去と畝表面のバーナー焼却に加え、立茎期間に約 10 日間隔で 4 回、夏どり期間に約 14 日間隔で 9 月下旬まで薬剤散布する総合防除体系は栽培期間中の茎枯病の発病を抑制できる。

**[キーワード]**アスパラガス、半促成長期どり栽培、茎枯病、総合防除

**[担当]**長崎県農林技術開発センター・環境研究部門・病害虫研究室

**[代表連絡先]**電話 0957-26-4413

**[分類]**普及成果情報

**[背景・ねらい]**

アスパラガスの主要病害の一つである茎枯病は、ビニル被覆による雨よけを行う半促成長期どり栽培の導入により発生が減少した。近年、台風襲来時の天井ビニル除去などにより本病の発生が再増加しており、汚染圃場での対策確立が必要となっている。本病は、萌芽時に感染しやすいため、春芽萌芽前の土壌菌密度を低下させる対策と、立茎開始から夏芽収穫終了までの感染抑制対策が重要である。そこで、春芽萌芽前の耕種的防除と立茎開始からの定期的な薬剤防除を組み合わせた総合防除体系の確立を行う。

**[成果の内容・特徴]**

1. アスパラガス半促成長期どり栽培において、春芽萌芽前の残茎の地下部からの除去と、畝表面の残渣のバーナー焼却による耕種的防除は、茎枯病の発病を長期間低く抑える（2012 年、2013 年データ略）。
2. これら耕種的防除に加え、立茎期間にまず、浸透移行性のある殺菌剤を散布し、その後約 10 日間隔で別系統の殺菌剤を 3 回散布、さらに夏どり期間に殺菌剤を約 14 日間隔で 9 月下旬まで散布する総合防除体系は、栽培期間中の茎枯病の発病を大幅に抑える（表 1、表 2、図 1、2017 年データ略）。

**[普及のための参考情報]**

1. 普及対象：アスパラガス生産者、アスパラガス栽培指導にかかわる技術者
2. 普及予定地域・普及予定面積・普及台数等：アスパラガス半促成長期どり栽培地域
3. その他：（1）薬液は茎葉だけでなく、病原菌の主な生息場所に近い親茎の株元にも十分かかるように散布する。（2）生育期間中に発病した茎の除去は本病の抑制に効果的であるため、見つけ次第、罹病部より下から処分し、菌密度低下に努める。（3）本情報に加え、病原菌の生態を載せた茎枯病防除マニュアル(2017)も防除指導の参照とする。（4）本総合防除体系は、褐斑病の防除体系としても有効である（図 2）が、本成果情報に加え、施設つま面の開放や過繁茂を避ける栽培管理等を行い、施設内の過湿防止に努める。

[具体的データ]

表1 総合防除体系の耕種的防除

1. 残茎除去	前作終了後の全刈りからバーナー焼却前までに、地下部から抜き取るか、地表面から約3～5cm下（りん芽より上）を切り取る
2. バーナー焼却	畝表面の残さをバーナーで焼却する

表2 薬剤防除体系

	立茎期間						夏どり期間							
	4月			5月			6月		7月		8月		9月	
	上旬	中旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	
	ベンレート水和剤	ロブラル水和剤	ダコニール1000	コサバ <sup>®</sup> 3000	アミスター20フロアブル	ダコニール1000	コサバ <sup>®</sup> 3000	ダコニール1000	コサバ <sup>®</sup> 3000	ダコニール1000	アミスター20フロアブル	ロブラル水和剤	コサバ <sup>®</sup> 3000	
茎枯病	◎	○	◎	○	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	○	○	
褐斑病	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	

◎: 対象病害に登録あり、特に重要な防除、○: 対象病害に登録あり、-: 対象病害に登録なし

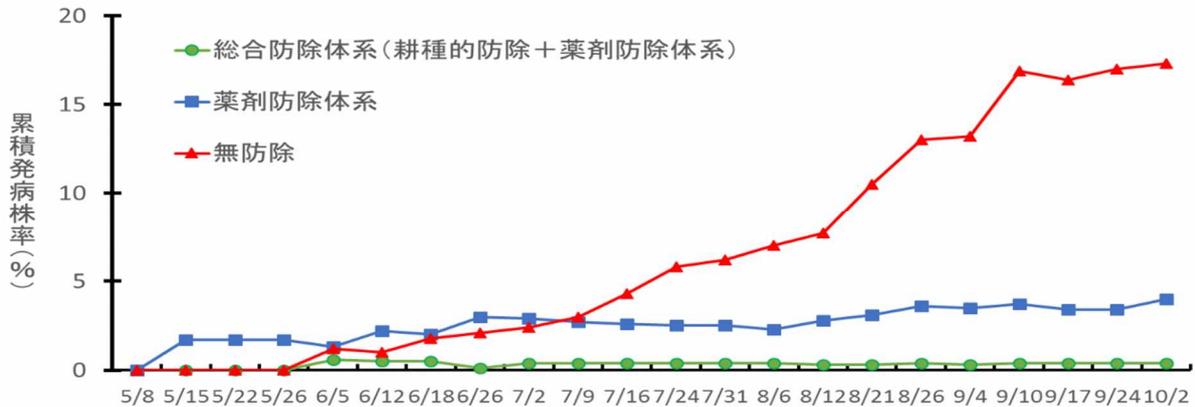


図1 総合防除体系の茎枯病に対する防除効果(2014年)



図2 総合防除体系の褐斑病に対する防除効果(2014年)

(長崎県農林技術開発センター)

注) 図1、2

- 1) 試験場所: 農技セ内ビニルハウス
- 2) 供試品種: ウェルカム (8年生株)
- 3) 立茎開始: 2014年4月7日
- 4) 耕種的防除:
  - 残茎除去: 2014年1月20日
  - バーナー焼却: 2014年1月27日
- 5) 散布薬剤: 表2のとおり  
各薬剤に展着剤スカッシュを加用 (アミスター20フロアブルを除く)
- 6) 散布量: 100~300L/10a
- 7) 初発: 茎枯病 2014年5月15日  
褐斑病 2014年8月14日
- 8) 茎枯病の発病茎は調査時に除去

[その他]

予算区分：県単

研究期間：2009～2014年度、2015～2017年度

研究担当者：中村吉秀、江頭桃子、寺本健、難波信行、森三紗

発表論文等：

- 1) 難波、森（2014）九病虫研会報、60:100-101（講要）
- 2) 長崎県農林技術開発センター(2017)「アスパラガス茎枯病防除マニュアル」  
[http://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/nougi/manual/asparagus\\_phomopsis\\_MN\\_Ver1.pdf](http://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/nougi/manual/asparagus_phomopsis_MN_Ver1.pdf)（2017年3月31日）